

# 青木花見区と 防災協定を結びました

（1）令和7年（2025年）3月18日 火曜日



## 水害時などに食料品提供

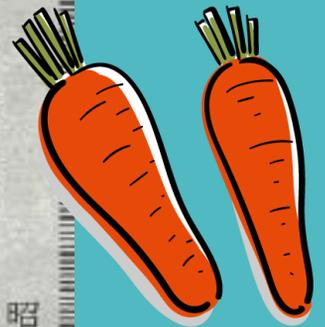
ポテト  
デリカ 北穂高・青木花見区と協定

安曇野市穂高北穂高地区の青木花見区は17日、地元の食品製造販売・ポテトデリカと防災協定を結んだ。水害などの災害発生時、区の協力要請に対し、同社が業務用に出荷しているポテトサラダや原料のジャガイモなどの

食料品を提供する。

区の住民約1100人の食料4日分や、製造活動に用いている井戸水を飲料用に提供も可能という。

同社で調印式があり、牛越敏文区長（66）と永井博史社長（49）が協定書を交わした。



永井社長は「万が一の際には率先して協力したい」と述べ、牛越区長は「住民の安心感につながる」と感謝した。

青木花見区など3区で構成する同地区は、高瀬川と穂高川に挟まれる氾濫原に立地し、昭和34（1959）年の伊勢湾台風上陸時など、度重なる水害に見舞われてきた歴史がある。

3区は今夏をめどに、既存の「災害時における相互応援に関する協定」の枠組みを生かし、民間との各協定のメリットを区間で融通し合える体制を構築する計画だ。

（横内里美）

調印式で協定書を交わす牛越区長（左）と永井社長

穂高神社

